

1秒差で大会連覇かなわず、全国大会出場逃すも

# 西根中男子東北大会出場

東北大会でのリベンジ誓う



第34回県中学校駅伝競走大会男子6区間18・6<sup>キ</sup>は10月4日、花巻市日居城野運動公園で開かれ、市内からは西根中の男子が出場し、準優勝で東北大会出場を勝ち取りました。

前回優勝し、大会2連覇が懸かっていた西根中は、2区で早くも首位に立ち、以降は優勝した福岡中と首位争いを繰り広げました。勝負を決したのは最終6区。ゴールの競技場入口付近で先頭に立った福岡中に食らいつきましたが、惜しくも1秒差で涙をのみました。

レース後、米倉重智監督は「練習の成果を出し切ってくれた。2位は悔しいけど、よくやってくれた」と選手をたたえました。4月の盛岡市内一周継走、9月の岩手地区中駅伝で連覇を飾るなど確実に力を付けてきました。2区の工藤信太郎主将は悔しさをにじませながらも「チームとして一体感が増して強くなってきた。東北大会ではリベンジする」と前を向き、1区を任された2年生の戸津大輝さんは「先輩たちが励ましてくれ、練習の雰囲気がとても良かった。東北大会で雪辱し、来年は今年を上回れるように頑張っていきたい」と意欲を燃やしました。

連覇を逃してもなお前を向く姿勢は、こうして着々と受け継がれ、西根中の駅伝の歴史が築かれます。

## ◎ 西根中の記録

| 区間 | 走者 (学年)     | 区間記録 (順位)  | 総合記録 (順位)   |
|----|-------------|------------|-------------|
| 1区 | 戸津 大輝 (2年)  | 10:05 (15) |             |
| 2区 | 工藤 信太郎 (3年) | 9:33 (1)   | 19:38 (1)   |
| 3区 | 遠藤 樹 (3年)   | 10:08 (2)  | 29:46 (1)   |
| 4区 | 高橋 悠月 (2年)  | 10:23 (5)  | 40:09 (2)   |
| 5区 | 高橋 凌空 (3年)  | 10:14 (1)  | 50:23 (1)   |
| 6区 | 門屋 佳一郎 (3年) | 10:20 (4)  | 1:00:43 (2) |

※工藤信太郎さんは本大会全体1位で、2区の大会新を記録



惜しくも連覇の夢はかなわなかったが、レース後は全力を尽くして好成績を残した選手、共に練習に励み、選手をサポートしてくれた仲間、導いてくれた先生と一緒に